

安平・厚真行政事務組合のページ

■平成 23 年度のごみ処理状況

平成 23 年度における、二町(安平町・厚真町)の皆さんが出されたごみの排出量やリサイクルの状況、ごみ処理にかかった経費をお知らせします。



ごみの排出量

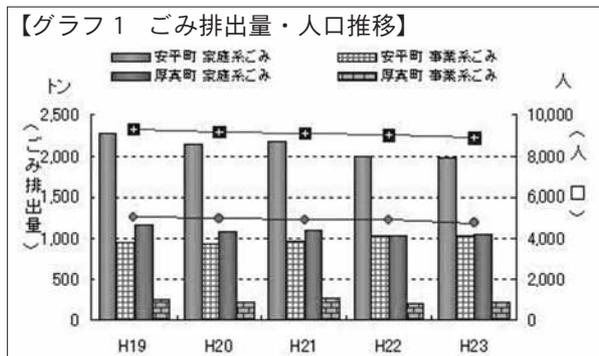
4,279 トン (平成 23 年度総排出量 対 22 年度比 9 トン増加)

安平町・厚真町における過去 5 年間の家庭系及び事業系のごみ排出量と人口の推移はグラフ 1 のとおりです。

平成 23 年度は前年度と比べ、総排出量で 9 トンと微増しました。

平成 22 年度は廃プラスチックの分別収集が開始され、ごみ分別への意識が高まった感がありましたが、2 年目となった昨年度はその反動により、ひと手間手をかけず、特にもやせないごみ等で出すケースが見受けられました。

ごみの分別を進めることで、ごみ焼却量や地球温暖化の原因とされる温室効果ガスの削減、環境の負荷を低減することができます。『分ければ資源、混ぜればごみ』の気持ちで、引続き分別の意識を高めていきましょう。



	安平町			厚真町		
	家庭系ごみ	事業系ごみ	人口	家庭系ごみ	事業系ごみ	人口
H19 年度	2,267 トン	937 トン	9,270 人	1,164 トン	258 トン	5,028 人
H20 年度	2,153 トン	930 トン	9,186 人	1,091 トン	231 トン	4,941 人
H21 年度	2,175 トン	970 トン	9,115 人	1,107 トン	274 トン	4,900 人
H22 年度	1,998 トン	1,029 トン	9,023 人	1,035 トン	208 トン	4,912 人
H23 年度	1,979 トン	1,030 トン	8,878 人	1,049 トン	221 トン	4,779 人



資源化の推移

排出されるごみのうち、資源化される割合をリサイクル率と定め、平成 23 年度のリサイクル率は 26.3% で、内訳は右表のとおりです (注: 平成 23 年度から、各学校・保育所での資源回収量を加えたため、大幅な増加となりました)。

平成 23 年度から安平・厚真両町で実施している「小型電子・電気機器」回収事業については、資源化や「もやせないごみ」の減量化に一層の効果が期待できます。

リサイクルすることは、限りある資源を有効に活用するとともに、経費の節減にもなりますので、引続き資源化の取組みにご協力をお願いします。

(単位: トン・%)

	H19	H20	H21	H22	H23
鉄屑	71	55	71	81	86
紙パック	2	2	2	2	2
ペットボトル	59	52	53	48	46
びん	95	105	105	112	103
缶	111	84	93	93	98
生ごみ堆肥化	211	199	193	200	193
古紙類	508	477	432	479	587
プラスチック				85	161
小型電子・電気機器					4
リサイクル率 (%)	20.6	20.0	19.1	23.2	26.3



ごみの処理経費

平成 23 年度のごみ処理経費の総額は、260,006 千円で内訳はグラフ 2 のとおりです。

ごみの収集運搬経費、ごみの焼却・埋立・資源化などを行うごみ処理経費、組合の処理場の維持管理経費及び人件費等が直接ごみ処理に要した経費で、ごみ 1 トンあたり約 61 千円、住民一人当たりで計算すると、約 19 千円となります。

【グラフ 2 平成 23 年度ごみ処理経費の内訳】

